

5連の木造アーチ橋

錦帯橋

錦帯橋とは、山口県岩国市の錦川に架橋された、

5連の木造アーチ橋である。

5

連のアーチからなるこの橋は、全長193.3メートル、幅員5.0メートルで、主要構造部は継手や仕口といった組手の技術によって、釘は一本も使わずに造られている。石積の橋脚に5連の太鼓橋がアーチ状に組まれた構造で、世界的に見ても珍しい木造アーチ橋として知られる。



100種類以上のアイスクリーム

錦帯橋の近くには、有名なアイスクリーム屋がある。
165種類近くも味があり、他では見ないような
珍しい味がたくさんある。



材質

現在の橋体に
使われている木材は
アカマツ、ヒノキ、
クリ、カシ、ヒバで
木材の特性により
使い分けられている。

構造

川幅約200メートルの河川内に4つの橋脚を持つ
5連の木造橋。中央3連がアーチ橋、両端が桁橋構
造を持つ反橋となっており、長さはアーチ橋が
35.1メートル、桁橋は34.8メートル。
アーチ橋の構造は、左右の橋脚を起点に橋桁の1番
桁から11番桁まで順次勾配を緩めながら先に突き
出るように重ねていき、9番桁鼻間に大棟木、10番
桁鼻間に小棟木を入れる。
こうした構造形式は世界的にも珍しく、ユネスコの
世界遺産に登録されている橋梁の中にも、
類似の構造をもった木造橋は見られない。

日本三名橋、
日本三大奇橋